

LINK

2018.12

VOL.16



＝一般社団法人豊田青年会議所2018年度例会・事業の報告＝

8月度 未来キッズプロジェクト2018 8月26日(日) 広川台小学校

例会 ～僕らが広報やってみた～

8月26日(日)豊田市立広川台小学校にて8月度例会「未来キッズプロジェクト2018～僕らが広報やってみた～」を開催いたしました。「生きる力」がなぜ子供に必要なのか、子供たちが置かれる社会状況を整理し、子供たちには直接的な体感、体験の楽しさや大切さを知っていただき、地域の皆様と青年会議所メンバーには学校教育に参加する意義を理解していただくことを目的に開催いたしました。コメンテーターに、お笑い芸人でチューバーのはいしい氏と弁護士の菊池幸夫氏をお招きして、子供たちに大勢の人前で報告することで達成感を感じてもらいました。青年会議所メンバー、行政や学校の方には、子供たちに実践的な体感、体験を与えることの重要性及び起業家教育が実践されていない原因が、教育現場において地元企業との連携がなされていないことを理解していただき、またトークセッションでは、プロジェクトに参加いただいた広川台小学校校長先生と東広瀬小学校校長先生にもコメンテーターとしてご参加いただき、「プロジェクトの評価」と「子供たちの成長」、「企業に与える影響」について意見交換を行いました。学校教育に地域企業が参画する意義や地域企業と行政や学校が協力体制をどのように構築すべきかを考え、キャリア教育の普及のため、自ら教育現場との架け橋になることの重要性を理解した例会となりました。



9月度 橋下徹と考えるこの国の未来 9月15日(日) スカイホール豊田

例会

9月15日(日)スカイホール豊田にて9月度例会「橋下徹と考えるこの国の未来」を開催いたしました。講師に橋下徹氏をお迎えして、参加者に政治参画の必要性を感じていただくことを目的に開催いたしました。冒頭、シルバー世代の民意が偏重的に反映される社会構造の危険性を認識し、若い世代の民意を反映させる必要性と、選挙に参加しないことと白票を投じることは、多数派の追認と同義であり、これに対抗するためには投票行動をする必要があることを映像で紹介しました。続く講師講演では、現代日本の民主主義の現状、その問題点、問題解決をする上で若い世代の社会意識が必須であることの提言をいただいた上で、選挙とは何か、選挙権を行使するとはどのような意味か、投票行動その他の政治活動の手法と政治参加をするとの意味を大阪の実例と豊田の現状を引き合いに出して、ご講演いただきました。講演後の質疑では、低迷する教育水準の改善について参加された学生の方から質問があり、講師と参加者で積極的な討議がされました。来場いただいた若者世代及びその親世代に明日からできる政治行動を発信することで、シルバー民主主義という現状と打破し、特に若い世代が一步を踏み出すきっかけとなる例会となりました。



10月度 TSUNAGARU フェスタ2018 10月13日(土) 豊田市駅前各所

例会 ～みんなで作ろう とよたの祭典～

10月13日(土)豊田市駅前各所にて10月度例会「TSUNAGARUフェスタ2018～みんなで作ろう とよたの祭典～」を開催いたしました。まちに対してポジティブな気分をもった人と楽しい時間を過ごしながら、まちに対する興味関心を喚起し、まちと人、人と人の新しいつながりを生み、まちに誇りや魅力を感じられるきっかけをつくっていただくことを目的に開催いたしました。参加者同士の交流を深め市民と市民、市民と出展者のつながりが互いの信頼や絆を生み出し、様々なコンテンツを用いて子どもたちに、豊田市の普段利用できない場所で多くの市民と交流を深めることにより、まちの新たな魅力・愛着を感じていただきました。また、ひととまちがつながる事業では、新たなつながりから得た機会や発展をすることにより、新たなまちの魅力へとつなげ、出展者と出展者、出展者と参加者でつながるボードを作成することによって、互いの信頼や絆を生み出していただきました。同日には2つの事業を同時開催して私たちの運動を広く発信する一日となりました。



11月度 Enjoy Life! 11月20日(火) 豊田市福祉センター

例会 Colorful Life! ホール

「ビジネス・ベップトークでモチベーションアップ!「言葉かけ」の改善で組織を活性化する」を開催いたしました。講師は一般財団法人日本ベップトーク普及協会理事の占部正尚氏。ベップトークとは、上司が部下に送る「方針や気持ちが分かりやすく伝わり、ピンとくるスピーチ」であり、プラス思考でポジティブな単語・表現で構成されていること。また、ついマイナス思考・ネガティブな発言で相手のやる気を削いだ経験、削がれた経験は誰もが一度はしてあり、それが組織の雰囲気や生産性を下げていることなど、ベップトークで組織を活性化し、生産性を上げる手法をご自身の経験や多くの事例、参加者全員で歌を歌ったりして解説していただきました。当日は多くの市民の皆様にもご参加いただき、働き方改革が企業にとっても働く人にとっても価値の向上になることを理解していただきました。そして言葉の力で人を勇気づけることができる人材となり、自分自身がポジティブに考え、仕事以外のことに時間を使うことを応援できる人材になっていくきっかけとなる例会となりました。



2019年度理事会構成メンバー紹介



<後列左から>稲垣博貴(広報渉外委員会・委員長)／三嶋辰也(絆醸成委員会・委員長)／貴田敏之(未来都市創造委員会・委員長)／矢頭竜地(経営力強化委員会・委員長)／梅村洋平(LOM強化への挑戦室・室長)／佐々木健(成長への挑戦室・室長)／大嶋信哉(自立したまちへの挑戦室・室長)／市川晶一(未来への挑戦室・室長)／佐藤秀作(会員拡大への挑戦室・室長)／岩瀬浩司(コミュニティデザイン委員会・委員長)／鈴木貴博(子どもの笑顔創出委員会・委員長)／稲熊徳磨(スポーツの力創造委員会・委員長)／橋本光晃(会員拡大委員会・委員長)／鈴木哲也(事務局・事務局長)

<前列左から>鈴木雅之(LOM政策協議会・議長)／天野洋平(常務理事)／鈴木悠介(副理事長)／吉田京樹(副理事長)／辻村洋行(監事)／数井辰浩(監事)／山田洋介(直前理事長)／坂元貞仁(理事長)／今野公介(現役顧問)／岡田訓和(監事)／本多重之(監事)／鈴木健太郎(副理事長)／池田靖典(専務理事)／澤田樹男(議案審査会議・議長)／中垣隆(出向者連絡協議会・議長)

10月度 事業 第7回JCフレンドリーカップ 10月13日(土) 豊田スタジアム芝生広場
～世界とつながろう RWC2019へ向けて～

本年度はラグビーワールドカップの前年ということもあり、外国人の子ども達のチームにも参加していただき、スポーツを通しての民間外交をテーマに開催いたしました。子ども達にはスポーツの魅力を感じていただき、2019年ラグビーワールドカップやスポーツ競技の観戦意欲やボランティアなどとしての参加意欲の向上と、選手として参加する子どもたちにはラグビー競技を通して、ラグビーの精神性を学び、人を思いやる心を体感することを目的としました。豊田市内の小中学生3～6年生で構成された、20チームはいずれも優勝を目指し、白熱した試合を繰り広げてくれました。また、審判員として、豊田市ラグビーフットボール協会・豊田市スポーツ推進委員の方々、各チーム付きのスタッフとして、中京大学のボランティア学生、城西高校ラグビー部の方々にもご協力いただきました。同日開催したTSUNAGARUフェスタ2018でもPRブースを設け、表彰式では、プロレスのリング上にて表彰を行うなど、子どもたちにとってスポーツにふれあう一日となりました。



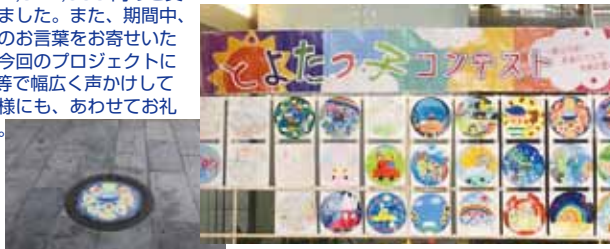
10月度 事業 TSUNAGARU子ども夢の商店街 10月13日(土) ギャザ南広場

TSUNAGARU フェスタ2018と同時に開催した「子ども夢の商店街」では、多くの親子に参加いただきました。子ども商店街で利用される「おむすび通過」という地域通貨を使った地産地消のモデルケースはグローバルとは逆行するかもしれませんが、地域の魅力を伝えられる有効な手段だと考えます。インバウンド創出委員会では、インバウンドを誘致するにあたり、まずは地元の強みを活かそうという取り組みを行いました。当日は多くの子ども達が、様々な職業を通じ、楽しくお金の流通と商売の楽しさを学ぶことができました。また、親子で一緒に地産地消を考えるきっかけとなりました。委員会としては4月にインバウンドについて考えるイギリス祭を開催して、一年間豊田市のインバウンド獲得に寄与してきました。一つの区切りとなる来年に向けて、豊田市を訪れる人々が増えるように今後も活動を続けていきます。



クラウドファンディング 目標金額達成の御礼

クラウドファンディング「ReadyFor」のプロジェクト「足元から町を元気に! 「豊田市の未来」を描くコンテストを開催!」にご協力ありがとうございました! ご支援をお願いしておりました、クラウドファンディングにつきまして、皆様のご支援によりプロジェクトが成立しました! あらためましてご報告とお礼を申し上げます。今回、50人の方より、合計1,041,000円のご支援をいただきました。また、期間中、様々な励ましのお言葉をお寄せいただいた皆様、今回のプロジェクトについてSNS等で幅広く声かけしていただいた皆様にも、あわせてお礼申し上げます。



ブロックアカデミー委員会 閉校式・謝恩会

9月15日(月・祝)メルパルク名古屋にて、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会の閉校式・謝恩会が行われました。ブロックアカデミー委員会は、愛知県内の33青年会議所の会員のうち、入会3年未満の会員を対象として、将来の各地のリーダーを育成する委員会です。一般社団法人豊田青年会議所からは22名が参加し1年を通して様々な学びや成長の場となりました。



第51回愛知ブロック大会 全国大会宮崎大会

公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会第51回愛知ブロック大会、全国大会宮崎大会に参加してきました。愛知県有数の四季折々のグルメや自然や景色を楽しめる愛知県田原市にて開催されました。開催地の地域特性を活かした運営が行われ、笑顔が溢れ活気あるブロック大会となりました。また、全国大会では台風の影響のなか多くのメンバーが参加しました。



アワード(褒賞)獲得のご報告

とよたっ子コンテスト~僕らの描く未来の豊田、未来のクルマ~
AWARD AICHI 最優秀賞 AWARD JAPAN 部門賞

愛知ブロック大会、全国大会で開催されましたアワードにて(一社)豊田青年会議所が受賞いたしましたので、ご報告申し上げます。昨年開催しました「とよたっ子コンテスト」が、AWARD AICHIにて最優秀賞(グランプリ)そして全国大会のAWARD JAPANにて地域環境活性化部門賞を獲得いたしました。



活動報告 体を強くする会「じゃがいもクラブ」[秋季大会]

10/16(火) 貞宝カントリークラブ

曇り空の中じゃがいもクラブ秋季大会が開催されました。今回のじゃがいもでは一層シニアクラブと現役の結束を高める狙いの中、新入会員や入会歴の浅いメンバーを優先的に組み合わせました。



愛知ブロック協議会 60周年記念祝賀会



編集後記 JCブランディング委員会 宇井洋平

(一社)豊田青年会議所広報誌「LINK」をご覧くださいありがとうございます。本紙の発行および広報業務を通じて市民の皆様、私たちの運動・活動だけでなく、豊田の魅力を発信することで、「つながる」きっかけの創出に努めて参りました。広報に関わることで、様々な方と出会うことができ、たくさんの経験をさせていただきました。今後とも未来に向かって挑戦していく豊田青年会議所の活動にご期待ください。

豊田JC

検索

ホームページ

http://www.toyotajc.jp

web



facebook



Instagram

